

スケルトン型DAコンバーター

DA-5000W

CDによる高忠実度再生の成功と失敗は、CDプレーヤーの
DAコンバーターが鍵を握っています。

これまでのDAコンバーターも、オーバーサンプリング等の
技術を駆使して賢明な努力を続けてきましたが、
解明が精度を増してくると方々に思いがけない
問題点を抱えていることがはっきりしてきました。

当社ではCDの根本原理にまで立ち返って、実験と試聴を重ね、
ようやく「スケルトン型DA-5000W」を完成することができました。



¥210,000 (税込)

【基本構想】

CDプレーヤーの決め手がDAコンバーターにあることは広く知られています。当社ではひたすら「音の鮮度」を追求して開発を進め、既に[DA-2000]で好評を戴いておりましたが、その後10年をかけて更にデジタル／アナログの変換機構に一步踏み込み、最善と思われる「スケルトン型 DA-5000W」に到達しました。

「スケルトン」は根幹という程の意味ですが、音の鮮度に悪影響のあるデジタル、アナログのフィルターを一掃し、不要な機能もすべて省いたベーシックなモデルです。

一方、サンプルレートコンバーターにより、DAC(IC)の直前で高速リクッキングすることで波形のスムージングとジッターの極小化を図るなど、最新技術は積極的に取り込んでいます。

これらの技術革新により、どんな音の姿になったか、是非、一度試聴してみてください。デジタル録音の本当の良さが納得でき、古いCDが精気をもって甦ります。

【ウッドケースの採用】

本機を開発の途中、ケース本体を金属製から木製にすることにより意図していた「音の鮮度」が一層際立つことを発見し、比較的影響の少ないフロント、リアのパネルのみアルミとして、ケースの上下、左右をすべて木製とすることにしました。

木製の場合の木材の種類による音質の変化も含めて、最善のセレクトを完了しました。これが「DA-5000W」型です。

木製ケースのコストは安くはありませんが、製造の合理化によって最低のアップに抑え、ひたすら「音の鮮度」保持を実現することができました。

【DA-5000W仕様】

◆対応デジタル信号	24ビットまでの標準デジタル信号
◆対応サンプリング周波数	32～192kHz (RCA入力) 32～96kHz (TOS入力)
◆リクッキング周波数	約100kHz
◆デジタル入力端子	RCAピンジャック、TOS 自動切替 (TOS優先)
◆オーディオ出力	真空管 (5687) SRPP回路出力
◆オーディオ出力端子	RCAピンジャック
◆本体寸法	440W×110H×350D
◆重量	約5.0kg
◆特長	ブロック毎の別トランス、別電源構成

試聴、貸出機の用意があります。
メールまたはFAXでお申し込み下さい。

株式会社 日本オーディオ

〒164-0011 中野区中央5-4-24 第5小河原ビル501号

TEL 03-5340-3020 FAX 03-5340-3023

E-mail:nipaudio@netlaputa.ne.jp

URL:http://www.netlaputa.ne.jp/~nipaudio/